

平成27年度

平成28年3月8日

後期 学校評価アンケート結果について  
学校運営協議会安全委員会報告（裏面）

京都市立乾隆小学校  
校長 小田 修司

先日実施いたしましたアンケート集計結果をお知らせいたします。

回収率は、71%でした。全体的に見ると、概ね良い評価結果でした。（右棒グラフ参照）

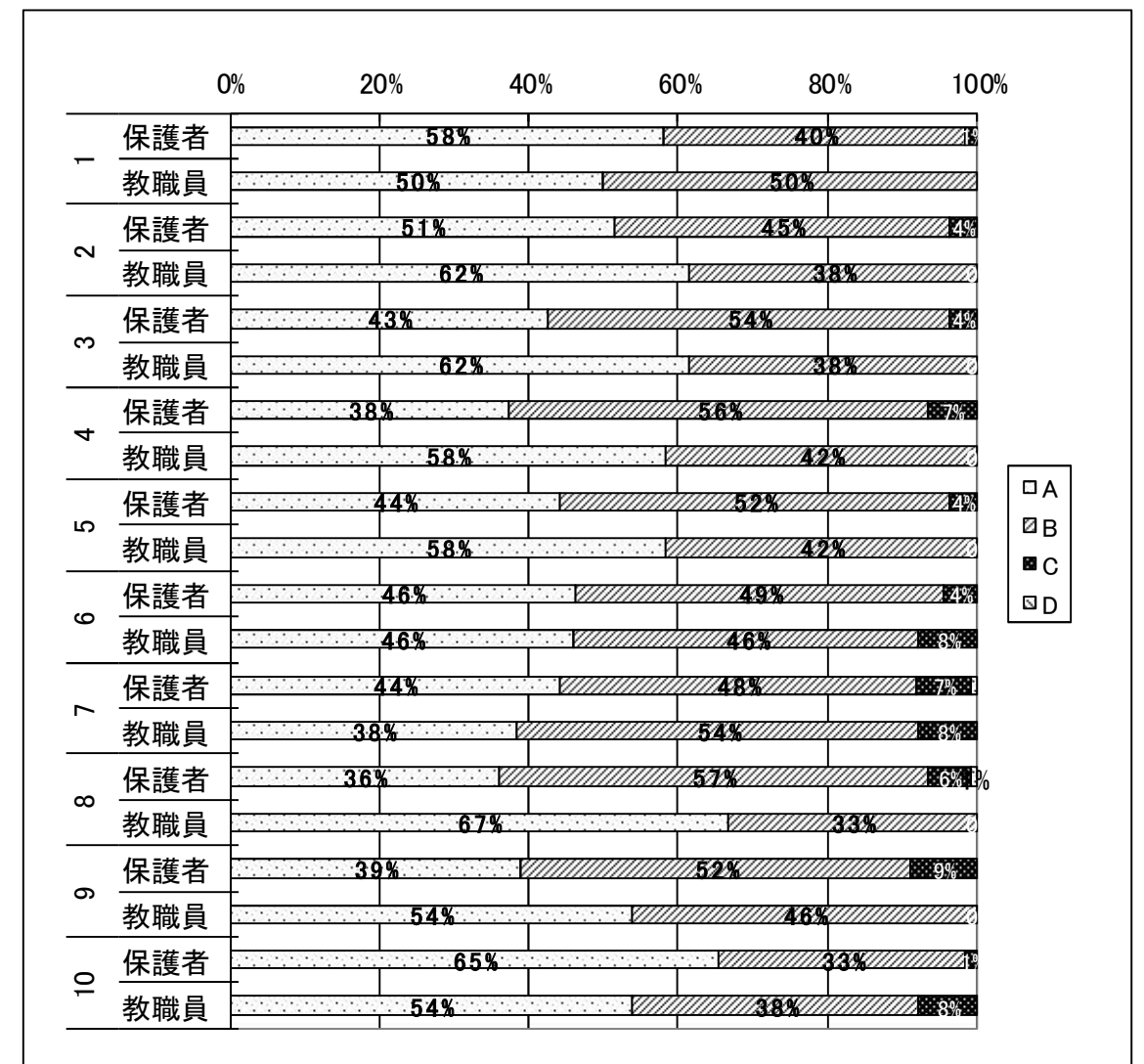
学校といたしましては、アンケート結果を踏まえ、今後も授業改善や保護者の方の思い・願いをしっかりと受け止めていかなければならないと考えています。

この評価結果については、学校運営協議会の理事会でも報告させていただきました。理事の方からは、子どもたちにコミュニケーション能力をつけていくことが大切だというご意見を頂きました。また、「教室で困ったことがあったら、先生にお話しできますか。」というアンケートで、「できないかもしれない」「できない」と回答している児童への対応について質問されました。日頃から児童をよく見つめ、保護者の方と子どもについての様々な情報を共有していきたいと考えています。他にも児童アンケートによって設問内容に対して学校全体の子どもたちの傾向をつかむことはできるが、各先生方がクラスの実態を客観的につかみ指導に役立てるようしてほしいとご意見を頂きました。

学校評価の他、先日行った「子どもの安全について考える集い」の報告も行いました。報告内容については、裏面に載せておりますので、お読み下さい。

アンケート項目

- 問1 教育方針や取組内容を学校だよりや懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。
- 問2 教育目標の達成に向けて、情熱を持って教育にあたっている。
- 問3 子ども一人ひとりが大切にされて、認められる学校づくりを進めている。
- 問4 授業の中で一人ひとりが出した子どもの考えや思いをもとに学習が進められている。
- 問5 教科の学習内容がわかり、基礎的な学力が身に付く取組を進めている。
- 問6 集団での規律やマナーなどが身に付くような取組を進めている。
- 問7 清掃活動や節水や節電、ゴミの分別など環境を意識した取組が進められている。
- 問8 子どもが成就感や満足感を感じながら学校生活を送れるような取り組みが進められている。
- 問9 子どもに力をつけてほしいという保護者の思いや願いに応えようとする姿勢が見られる。
- 問10 様々な取組や行事等を通して、家庭・地域と協力して子どもの教育にあたっている。



A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

# 【乾隆小学校の子供の安全を考える集い】 報告書

学校運営協議会 安全委員会  
委員長 田部 明

日時 平成28年2月17日(水) 午後7時30分～8時50分 ランチルーム

目的 学校、保護者、地域住民が定期的に校内、校区内の安全を検討し、また改善することで乾隆小学校児童がより安全に成長することを目指す

- 議題
- 1) 昨年の報告 いままでの取り組み等を下の図に記入
  - 2) 学校の取組 校内の危険箇所チェック(毎月)、町別児童会での通学路のチェックと現地確認(先生) 避難訓練(年5回)(時間、場所の想定を変え実施)
  - 3) 地域の取組 寺ノ前(寺ノ内一上立売)の通行止め8-9時(交通安全会) --- 寺ノ前町の協力、 沢野さん河村さんの尽力  
メガロ北側の横断表示の依頼 --- 交通安全会、学校 --- 警察は不可(私道の為)  
芦山寺寺ノ前の安全の検討(ミラー設置、一旦停止は警察がNO)(道路標示をお願い中)
  - 4) 育友会の取組 安全指導委員会(クラス選出)での見守り(毎月1日)  
安全マップ、見守り啓発ポスターは実施できず(継承できていない)
  - 5) 提言、思い 歩道における自転車の危険運転をなんとか出来ないのか(交通安全会で検討)  
放課後、運動場の見守りを先生にお願い  
プールの開放の復活を育友会で検討してほしい
  - 6) 継続検討事項 側溝(グラウンド北側)の滑り止めの検討 --- 妙案がない  
子ども110番の現状分析 --- 警察は把握できていない(継承していない)

